

平成28年度決算

平成28年度の決算が9月定例市議会にて認定されました。
ここでは、みなさんに納めていただいた市税や国・県からの支出金などの収入をどのように使ったのかをお知らせします。

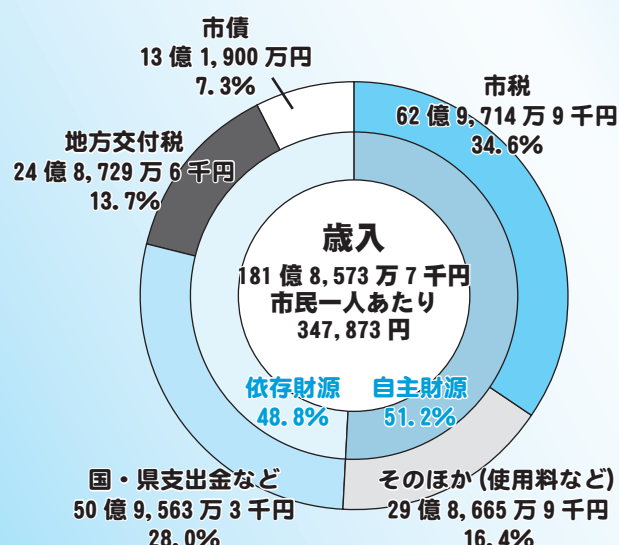
問合せ 一般会計・特別会計について／財政課 ☎(43) 1111 内線 252・FAX(43) 3783
水道事業会計について／水道管理課 ☎(48) 0050・FAX(48) 0120

◆◆ 一般会計決算 ◆◆

平成28年度一般会計決算は、歳入が181億8,573万7千円、歳出が168億7,877万6千円で、単純な差引き(形式収支)は13億696万1千円となりました。このうち、平成29年度に行う事業に充てられる繰越金3億9,637万5千円を除いた決算剰余金(実質収支)は9億1,058万6千円となりました。



市に入ったお金 181億8,573万7千円

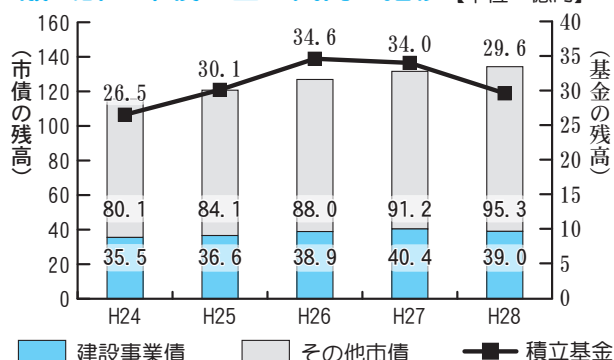


▼歳入は対前年度比2・2%の増加
市税(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)は、歳入全体の約34・6%と大きな比率を占める大切な財源となっています。法人市民税法人税割や市たばこ税の減少がありました。個人市民税や固定資産税が増加したため、全体としてはわずかに増加しました。また、地方消費税交付金や地方交付税、市債(借入金)が減少しましたが、繰越金などが増加したため、歳入全体としては増加しました。

財政健全化判断比率 ～すべて基準を下回っています～		
財政健全化判断比率は、市の財政の健全度を判断するもので、それぞれ判断基準である早期健全化基準〔 〕で表示しています。などが設けられています。早期健全化基準を上回ると早期健全化団体と位置づけられます。		
実質赤字比率	一般会計の収入に対する赤字の程度を表します。	該当なし 〔 1 3 . 3 4 % 〕
連結実質赤字比率	市の全部の会計を合算した場合の赤字の程度を表します。	該当なし 〔 1 8 . 3 4 % 〕
実質公債費比率	市債の返済額などの程度を表します。	4 . 0 0 % 〔 2 5 . 0 0 % 〕
将来負担比率	今後、返済する市債の残高など、将来支払う負債の程度を表します。	1 8 . 8 0 % 〔 3 5 0 . 0 0 % 〕

▼都市計画税の使い道
都市計画税は、市街化区域内の土地や家屋に課税されるもので、主に下水道事業や幸手駅西口土地区画整理事業に充てられています。引き続き、大切に使用させていただきます。

一般会計の市債・基金残高の推移 【単位：億円】



▼市債と基金残高の推移
市は、次世代への負担の先送りとならないよう、建設事業に係る市債(借入金)の発行を抑制しています。また、本格的に実施段階に入った大規模事業(幸手駅西口の整備、道路や橋、公園などの公共施設の老朽化対策など)に備え、基金への積立(貯金)を行い、必要な事業に対して必要な投資を実施しています。

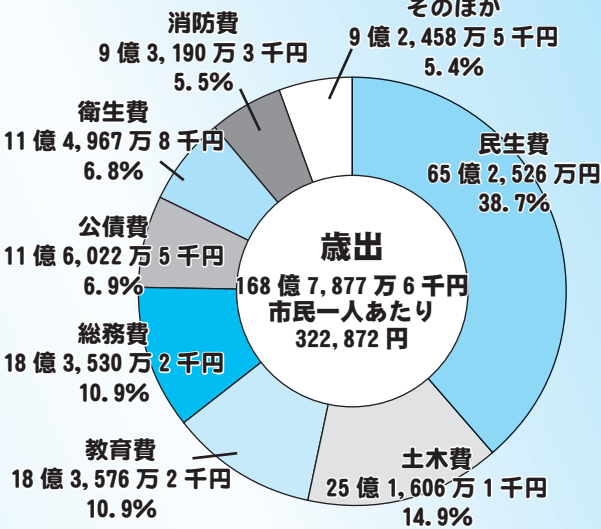
一般会計の主な事業と決算額(歳出)

衛生費(保健・ごみ処理に関する経費)	教育費(教育に関する経費)	民生費(福祉に関する経費)
杉戸町ごみ処理負担金 2億 7,341 万円	幸手小学校校舎の大規模改修工事 2億 6,588 万円	生活保護費の支給 11億 5,430 万円
ごみ収集の費用 1億 5,898 万円	私立幼稚園に関する補助金の支給 1億 329 万円	臨時福祉給付金の支給 1億 7,890 万円
各種予防接種の実施 1億 297 万円	学校給食費補助金の支給 2,231 万円	子ども医療費の支給 1億 6,142 万円
消防費(消防、救急、防災などに関する経費)	総務費(市民との協働などに関する経費)	放課後児童クラブ室の新設工事 9,977 万円
埼玉東部消防組合への負担金 8億 5,828 万円	公共施設等	土木費(道路などに関する経費)
災害、防災対策 3,547 万円	総合管理計画の策定 2,484 万円	圏央道関連事業負担金 4億 6,888 万円
そのほか(市債の償還などに関する経費)	デマンド交通の実施 1,689 万円	橋上駅舎及び自由通路整備工事の負担金 2億 8,224 万円
市債の償還(借入金返済) 11億 6,022 万円	街路灯設置事業補助金の支給 1,398 万円	古川橋の架替工事 1億 2,968 万円
基金への積立(貯金) 4億 1,370 万円		

市が使ったお金

168億7,877万6千円

▼歳出は対前年度比2.8%の増加
民生費が生活保護費の支給や臨時福祉給付金の支給により、また、土木費が圏央道関連事業の負担金や橋上駅舎及び自由通路整備工事の負担金、さらに、教育費が幸手小学校校舎の大規模改修工事などにより増加しました。
そのほか、公債費が市債の借入金の返済により、消防費が埼玉東部消防組合への負担金により増加しましたので、歳出全体としては増加しました。



平成 28 年度に実施した事業の一部を紹介しています。詳細については、「決算書」「主要施策成果表」をご覧ください。
市ホームページ(<http://www.city.satte.lg.jp/>)のほか、市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館本館で公開しています。

1 人あたりの市税負担額は？
120,457 円(A)

1 人あたりに使ったお金は？
322,872 円(B)

内訳は	民生費に	124,821 円
	土木費に	48,129 円
	教育費に	35,116 円
	総務費ほか	114,806 円

①と②の差額
202,415 円は？

国・県支出金、使用料、市債などで賄っています。

(平成 29 年 3 月 31 日現在
人口 52,277 人)

特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	82億 9,664 万 2 千円	78億 2,781 万 9 千円
後期高齢者医療	5億 888 万 4 千円	5億 446 万 1 千円
介護保険	34億 6,445 万 1 千円	31億 1,545 万 6 千円
農業集落排水事業	3,104 万 3 千円	2,928 万 3 千円
公共下水道事業	12億 5,597 万 5 千円	11億 6,194 万 4 千円
幸手駅西口土地区画整理事業	3億 3,602 万 2 千円	3億 267 万 3 千円
水道事業	収入	支出
収益的収支	11億 7,003 万 6 千円	10億 2,305 万 1 千円
資本的収支	2,958 万円	4億 7,607 万 3 千円

※資本的収入と資本的支出の差額については、企業内部に留保された資金(内部留保資金)により補てんしました。

歳入と歳出の推移

